

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|------------------------------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 4270500368 | | |
| 法人名 | 特定非営利活動法人トライアングル・サークル | | |
| 事業所名 | 特定非営利活動法人トライアングル・サークルグループホームたんぼぼの家 | | |
| 所在地 | 長崎県大村市東野岳町1800番地2 | | |
| 自己評価作成日 | 平成23年1月7日 | 評価結果市町村受理日 | 平成23年3月17日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://ngs-kaigo-kohyo.pref.nagasaki.jp/kaigosip/Top.do |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|--------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社 福祉サービス評価機構 | | |
| 所在地 | 福岡市博多区博多駅南4-2-10 南近代ビル5F | | |
| 訪問調査日 | 平成23年1月22日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|--|
| <p>子供達から高齢者まで、「ゆったりと、自分の家のように、地域の中で、その人らしく安心して暮らせる環境を整えていきたい。」とおもいで、恵まれた自然にかこまれて、生活している。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|---|
| <p>周囲の自然は変わらず、桜や緑の木々が豊富な所にホームは建てられている。開設から10年、年代を問わず「共生」していくことを大切にされている理事長の笑顔は温かく、通所サービスの開設とともに、地域の方や職員向けのお弁当屋の開設を行うなど、更なる理念の実践が続けられている。「ここで働けることがありがたい。」と話される職員の表情から、心からの笑顔で日々過ごされていることが伝わってきた。管理者やケアマネ等を中心に「おおらかに、こまやかに、さりげなく」という三訓を守りながら、全職員で日々のケアを続けてこられた。次第に心身機能の低下が見られる方もおられるが、系列の3つの施設の看護師が2ヶ月に1回集い、医療情報の共有も図られている。ご利用者の“できること”を見つけ出し、その方に合った役割や楽しみが介護計画にも盛り込まれており、つわ等の季節の食材をご利用者と調理して一緒に食べたり、将棋のできる方とは将棋を楽しみ、歌の好きな方はカラオケで歌うなど、“たんぼぼの家”での穏やかな生活がゆっくりと流れていた。今後も、地域の方々ともっと親密な関係を作っていくために、行事等のご案内の範囲を広げ、より多くの方に参加頂けるようにしていく予定である。</p> |
|---|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|--|---|--|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|-----|---|---|---|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 管理者と職員は、毎日、朝の申し送り後、理念を読み上げ、意識づけを行っている。急変時にも、自分自身に「ゆっくり」と言い聞かせて、対応するようにしている。 | 理事長は、子ども達から高齢者まで「ゆったりと、自分の家のように、地域の中で、その人らしく安心して暮らせる環境を整えていきたい」という思いを込めて、「ゆっくりと・自分らしく・共に暮らす」という理念を作られた。職員の話し合いも続けながら、地域の人々や保育園の園児との触れ合いを持つことができている。 | 地域の協力体制をもっと強化するために、地域の方々ともっと親密な関係を作っていきたいと考えている。行事や訓練の時のご案内の範囲を広げながら、より多くの方に、行事や会議に参加頂けるようにしていく予定である。(2・3・7・13共通) |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している | 日常的に散歩や買い物などに出かけた時、近隣の人達と挨拶をかわしたり、日常的なつきあいが、出来るよう努力している。 | 保育園の行事の見学や近隣公園、お店にもご利用者と出かけており、近隣の方々にもお会いすることができている。地域の方が、お花見や餅つき、避難訓練等に参加して下さり、たんぼ保育園の園児たちが七夕の飾りを一緒に作ったり、一緒に食事を楽しむ機会を作る等、ご利用者の楽しみの一つとなっている。 | 地域の協力体制をもっと強化するために、地域の方々ともっと親密な関係を作っていきたいと考えている。行事や訓練の時のご案内の範囲を広げながら、より多くの方に行事や会議に参加頂けるようにしていく予定である。 |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営会議のメンバーとして、民生委員のかたがおられ、町内会の会合時、話していただいている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回開催して、施設の現状報告、行事報告を行い、そこでの意見をサービス向上にいかしている。 | 2か月に1回、隣の“たんぼぼ顔の家”の方と合同で、運営推進会議を開催している。会議の議題は、ご利用者に密なテーマにしており、話し合いが行われている。消火訓練に参加された民生委員より提案された、「避難する時はご利用者のネームプレートを床に置き」避難が行われた。 | 地域の協力体制をもっと強化するために、地域の方々ともっと親密な関係を作っていきたいと考えている。行事や訓練の時のご案内の範囲を広げながら、より多くの方に参加頂けるようにしていく予定である。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 市町村担当者に運営推進会議があるごとに、事業所の実情を、積極的に伝え、サービスの質の向上に取り組んでいる。 | 市の担当者には、認定申請手続きの他、グループホーム協議会の説明会時にお会いした時にもホームの現状を伝えている。ご家族からの相談内容も、必要時には市の方に事前に連絡し、直接相談してもらった場も設けており、親身に相談に応じて頂いている。2か月に1回、介護相談員の訪問もあっている。 | 今後も、市の担当者の方が運営推進会議に出席された時に、他の施設の情報を教えてもらい、ホームの運営にも活用していきたいと考えている。 |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | リスクマネジメント会議を3か月に1回開き、他の施設の状況を聞き、身体拘束廃止に取り組んでいる。 | 職員は身体拘束廃止等に関する研修も受け、理解を深めている。帰宅願望等の個別のお気持ちに寄り添い、安心して頂く方法の検討を続けている。ご利用者は、日々の生活の中で自由に過ごされており、穏やかな方が多く、その日その日のお気持ちに応じての寄り添いを続けている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 勉強会で理解を深め、実践しようと思うが、なかなか取り組めない | | |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|--|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 地域の協議会などが、主催する成年後見制度の研修に1部の者だけしか参加できていないので、勉強会の項目にあげ、職員の理解を深めていきたい。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 時間をかけて、丁寧に説明している。特に利用料金や医療連携体制について詳しく説明し、納得してもらい、同意を得るようにしている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 意見箱を設置している。家族会や面会時、ケアプランの同意書に、ご意見・要望を書いてもらい、運営に反映している。 | 暮らしぶりや健康状態は、担当職員が毎月“たんぼぼ便り”で報告し、ご家族が面会時にも声かけをしている。ホームの行事や運営推進会議にも参加頂き、ご意見を頂く機会を作っている。内容に応じて、理事長や医師等にも報告し検討を続けている。22年度は、敬老会と同じ日に家族会を開催し、食事等の意見交換も行われた。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 定例会やミーティング等で、意見を聞くようにしている。日頃から、コミュニケーションをはかるよう心かけている。 | 職員の入れ替わりも少なく、チームワークもできている。21年5月から3ヶ月に1回“スタッフ会議21”と題して職員の意見を処遇改善に活かすための会議を設置した。介護職の目標を各施設より出し合い、話し合いをしている。職員のアンケート結果を会議に提案しており、毎月の定例会でも報告している。 | 今後も、職員へのアンケートを定期的に行い、馴れ合いにならないケアにも努めていく予定である。同ホーム内で共用型通所介護も始まる事から、介護目標を個別に持ち、職員に日々の運営に関心をもってもらう取り組みを続けていきたいと考えている。 |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 福利厚生費として、年2回補助をでして、職員のストレス解消をはかっている。勤務希望もうまく調整している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 日常的に学ぶことを推進し、順番制で、研修に参加して、定例会で、報告する。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会に参加し、グループホーム相互訪問の活動を通じて質の向上に取り組んでいる。 | | |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|--|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | サービスの利用について、必ず本人にあつて、心身の状態や本人の思いにむきあい、職員が、本人に受け入れられるような関係作りにつとめている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | これまでのご家族の苦労や、今までのサービスの利用状況など、ご家族に直接会い、話しを聞き、次の段階の相談につなげている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 相談時、本人やご家族の思い、状況などを確認し、まず、必要としている支援を見極める。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 利用者と、昔話やでコミュニケーションをはかり、早く馴染んで安心して生活していただくよう工夫している。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 本人の思いや根本にある苦しみ、不安、喜びなどを 知ることにつとめ、ご家族より得た情報からね支え合う関係を築いている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 地域に暮らす馴染みの知人・友人に遊びにきてもらう。 | 一人暮らしの時から携帯電話を利用しており、ホームでも携帯電話でご家族と話しをされている方や、知り合いの家にミカンを買いに行き、買い物ついでに知人の方とお話しをされている方もおられる。ご家族と相談しながら親類の家に外出されるなど、馴染みの方等との関係を大切にされている。 | 今後も引き続き、馴染みの人や場所の情報を把握すると共に、ご家族の協力も得ながら、食事や外出などの馴染みの場所への外出ができるよう支援していく予定である。 |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | みんなで楽しく過ごす時間や気のあうもの同士で過ごせる場面づくりをするなど、利用者同士の関係がうまくいくように働きかけをしている。 | | |

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 積極的にはしていないが、相手から連絡があれば、話しをきいたりして、情報交換をして関係を保っている。 | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人が、どこで、どのように暮らしたいか？何をしたいのか？日々の関わりのなかで、把握に努め、本人本位に検討している。 | センター方式を利用し、ご家族が面会に来られた時に日々の状態を報告し、ご家族やご本人の要望等を聞いている。ご利用者にも、今までの生活歴や日々の表情や行動、しぐさなどを大切にしながら、「できることは自分でしたい」と言うお気持ちや願いを汲み取る努力を続けている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 本人や家族などから、聞き取るようにしている。本人との何げない会話や家族の訪問時など少しずつ把握するよう努める。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 利用者ひとりひとりの生活のリズムを理解し、生活、心理面の視点や「できる力」「わかる力」を暮らしの中で発見していくことに努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人・家族・スタッフと話し合い、ご本人が、その人らしく暮らし続けられるような意見やアイデアを反映させた個別の介護計画を作成している。 | ご利用者お一人おひとりの心身状況や思い、今までの生活習慣なども踏まえ、ご家族にも相談しながら介護計画を作成している。長年培ってきた事や趣味なども大切に把握しており、“絵を書く”“本を読む”などの計画も盛り込まれている。介護計画の中には家族の役割も入っており、個別援助計画も書かれている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 職員の気づきや利用者の状態の変化は、個々のケア記録に記載し、職員間の情報を共有していく。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 本人や家族の状況に応じて通院や送迎など必要な支援に対応している。医療機関に入院されたときは、ドクター・看護師より情報を得て早期退院に努めている。 | | |

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 消防署の協力により、避難訓練や、救急法を実施している。地域のかたにも声かけをしている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 月2回、かかりつけ医の往診にて、適切な医療を受けられるように支援している。 | 希望を伺っているが、往診をして頂けるという事もあり、納得の上で協力医療機関への変更をされる場合もある。職員が通院介助を行っているが、ご家族に同行して頂く事もあり、変化がない場合はお便りで受診結果を報告し、変化時は電話で伝えている。24時間体制でホームの看護師に相談ができ、職員の安心にも繋がっている。 | 病状や今後の経過等に関しては、主治医の方から丁寧に説明頂けることもあり、今後も、かかりつけ医とご家族との話し合いの場を、どんどん増やして頂く予定にしている(12共通)。 |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | このホームには、看護職員が、常勤しているため、常に利用者の健康管理・状態の変化に応じた支援をおこなうことが、できる。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院時には、本人への支援方法に関する情報を医療機関に提供し、また、家族とも情報交換しながら、回復状況などを考慮し、速やかな退院支援に結びつけている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居される時に、ご家族様に説明する。再度、重度化された時点で、ご家族に説明し、今後の事を相談しその旨、かかりつけ医に伝え、連携をはかる。 | 重度化や終末期の方針を利用開始時にお伝えし、ご利用者とご家族の意向を把握するように努めている。「最期はホームで…」と言う意向の方も多く、ご利用者に状態変化があった時も、ご本人やご家族に意向を確認し、ホームの看護師も一緒に医療機関との調整を続けている。長期入院時等も、ホームの利用を継続できるかどうかの話し合いも行われている。 | 病状や今後の経過等に関しては、主治医の方から丁寧に説明頂けることもあり、今後も、かかりつけ医とご家族との話し合いの場を、どんどん増やして頂く予定にしている(12共通)。 |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 消防署による応急手当や防災訓練などの指導を定期的を受け、実践力を身につけている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | マニュアルを作成し、消防署の指導のもと地域の方々の協力を得て、避難訓練、避難経路の確認を行い、消火器の使い方などの訓練を定期的に行っている。 | 年に2回、3施設合同で、夜間を想定した避難訓練と研修を行っており、前回の訓練では消防署職員と近隣の住民の方も参加された。地域の方や系列施設の方々にも、避難するご利用者の見守りの協力依頼をあらかじめ行っている。災害時に備えて、飲料水や非常食の缶詰や乾パン等が常備されている。 | 地域の協力体制をもっと強化するために、地域の方々ともっと親密な関係を作っていく予定である。行事や訓練の時のご案内の範囲を広げながら、より多くの方に参加頂けるようにしていく予定である。 |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|--|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりの人格を尊重し、本人が穏やかに生活できるよう、言葉かけや対応に注意している。 | 職員は、ご利用者の方々を“人生の大先輩”として、目上の方に対する尊敬の念を持って接することができている。排泄ケア等の誘導の声かけや介助の時は、声の大きさや言葉遣いに注意しており、ご利用者の自尊心を傷つけないように配慮しながら取り組んでいる。個人情報の管理についても、徹底されている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | スタッフが威圧的な態度ではなく、本人が自分の思いや希望を表せるような接し方をする。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者一人ひとりの生活のリズムを理解し、その人のペースに合わせた生活を支援していく。 (食事の時間や入浴など) | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 外出や行事の時など本人が好きな服を選び、おしゃれできるようにしている。 毎月1回散髪サービスを受けている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 職員と利用者が同じテーブルを囲んでたのしく食事ができるような雰囲気づくりをこころがける。また、利用者の体調など考慮して、テーブル拭きをしてもらっている。 | 誕生日には、ご本人の希望の食事を献立に盛り込んだり、時には、お寿司の出前を取るなどの支援も行われている。調理の下ごしらえやテーブル拭きなど、それぞれのご利用者でできることに取り組まれている。経口摂取の困難な方には、栄養補助食品を活用したり、スポーツドリンクのゼリーで水分補給が行われている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量を毎回チェックして、介護記録に記入する。水分補給もゼリーやトロミなどに形態をかえて、スムーズに補給できるようにする。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後、一人ひとりに合わせた口腔ケアを統一しておこなっている。口腔用スポンジやガーゼを使用する。 | | |

| 自己 | 外部 | | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄パターンをいかして、時間を決めてトイレ誘導をして自立に向けた支援を行っている。 | ご利用者の羞恥心に配慮し、小声でのトイレ誘導を心掛け、トイレの中でもカーテンを閉めたり、間に合わず床など汚された時には、ご本人に気づかれないように掃除を行っている。一人ひとりの体調に合わせてパッドの種類を決めるなど、職員間で検討が行われている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | ラジオ体操を毎日行い、便秘の時はふかし芋やバナナ、水分補給で対応し定期的に下剤などを服用してもらう。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 一応入浴時間帯はきまっているが、利用者の希望や体調に合わせて、気持ちよく入浴していただくよう働きかけをしている。 | 入浴を楽しんで頂ける様に、季節に応じて菖蒲湯やゆず湯を行っている。高さの異なるシャワーチェアが準備されており、その方に合った椅子を活用して頂いている。入浴を好まれないご利用者には、声かけの仕方を工夫する等の配慮も行われている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 毎日ラジオ体操をして生活のリズムを整え、一人ひとりの体調にあわせて、ゆっくり休息できるように支援していく。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 一人ひとりの薬歴表を作成し、薬の目的や副作用を把握し、誤薬のないよう努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 毎日の洗濯物たたみの手伝いや将棋の出来る方には一緒にしたり、歌の好きな方にはカラオケなどで、気分転換を図る。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 本人が、行きたい所がある場合は、家族と相談し、スタッフまたは、家族が付き添って出かけられる機会を作る。外出により季節を感じてもらおう。 | お花見等、季節の行事の他、お買い物を楽しんで頂けるようにと、週1回の買い物デーが設けられた。インフルエンザの流行時期ということもあり、外出を控えてきたが、外気に触れる機会も必要と考え、少しでも太陽に当たって頂ける様、短時間の外気浴を取り入れるなどの取り組みも行われている。また、ご家族の協力も頂きながら、親戚宅を訪問されたご利用者もおられる。 | |

| 自己 | 外部 | 自己評価 | | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|--|
| | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 家族の協力を得て、少額の金銭を持っているひとは、お買い物で、お菓子を買ったりされている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 携帯電話を持っている方には、時々、充電をして、自由に電話できるようにしている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホールの壁に季節、きせつの飾り物をしたり、季節の花などを散歩の時つんできて、テーブルにかざり、季節感を感じられるようにしている。 | ホームの花壇には季節の花が植えられ、ホーム内には季節に応じた飾りつけが施されている。リビングの天窓にはステッドガラス調のフィルムを貼ることで日差しの調整が行われており、ご利用者に直接エアコンの風が当たらないように、風除けの紙を貼るなどの工夫が行われている。トイレには炭を置いて消臭する等、ホーム内の臭いや換気には細やかに対応されている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 和室のソファに座って、お茶を飲んだり、横になったり、思い思いに過ごせるようにしている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時、使い慣れたタンスや、鏡などをもって来るようにお話しはしている。 ラジカセやぬいぐるみや家族の持って来られた花を飾ったりしている。 | ご利用者の体調に合わせて、電動ベットやリクライニングの車椅子を使用して頂いている。入居後も、ご利用者に居室で居心地よく過ごして頂けるよう、居室にご利用者と職員で一緒に作った作品を飾られたり、ご家族が花を差し入れられる等の取り組みが続けられている。絵描き道具や将棋等、趣味の品物も持ち込んで頂いている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者の状態にあわせて手すりや浴室・トイレ・廊下などを見直しトイレのドアをカーテンにかえる 夜間動きかけられる人には、音センサーを付けたりして工夫している。 | | |

事業所名: グループホーム たんぽぽの家

作成日: 平成 23 年 3 月 11 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。 | | | | | |
|--|------|---|-----------------------------|-------------------------------------|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 2 | 地域のかたに、行事の声かけをしても、なかなか参加を得られず地域の方との交流が、難しい。 | 地域の協力体制をもっと強化したい。 | 地域に配布する範囲を広げ、一人でも多くの方を参加をお願いする。 | ヶ月 |
| 2 | 5 | 市町村の担当のかたも、親身に相談に応じてもらうも、他の施設の情報が少ない。 | 市町村との情報交換を密にして、更に連携を深めたい。 | 運営推進会議に出席された時、いろいろな情報をもらうように、働きかける。 | ヶ月 |
| 3 | 11 | 運営にたいして、職員からなかなか意見が出ず反映されない。 | 職員から、いろいろな意見を出してもらうよう働きかける。 | 定期的に、職員にアンケートをとり、介護目標や、意見を聞く。 | ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |